

子どもの育ちを社会で支える

来月4月から、「子ども・子育て支援新制度」がスタートします。市では今、新しい計画づくりを進めています。そこで一般質問で現状を確認しました。



市議 三宅 まり

待機児童の後追い調査を

鎌倉市の今年度の待機児童数は55人と報告されましたが、実態としては、年度当初には保育所への入所を希望しても入れなかった子どもは224人に上っています。

鎌倉市はこれまで保育所の入所要件として、親の就労時間を月75時間に設定してきました。来年から始まる子ども・子育て新制度では、48時間から64時間の範囲で自治体が決めることと

フラワーセンターの無償譲渡を断った鎌倉市



フラワーセンターの移譲について、昨年10月神奈川県から鎌倉市に問い合わせがありました。移譲の条件は、

- ①土地建物は無償譲渡
- ②用途は植物園として使用する
- ③必要に応じて施設修繕費・運営費の補助、職員の派遣等については別途、調整するという内容でした。

鎌倉市は、経営企画部、市民活動部、都市整備部、まちづくり景観部の4部長で会議を開いたのち、市長決裁を受けて回答しています。厳しい財政状況等では、植物園の機能を存続させることは困難であるとして断ったうえで、機能が保たれることを強く要望しました。

フラワーセンターは、学校や保育所・幼稚園の遠足、高齢者の利用等、幅広く利用されています。市が直営で運営することは財政的に困難ですが、4部長と市長だけで決めることなく、民間委託の手法を含め、存続のために市ができることを模索する必要がありました。

6月鎌倉市議会 【その他の一般質問項目】

坂保れい子 <http://hosaka.kanagawanet.jp/>

- ごみ処理施策について
 - 情報システムについて
- 市の情報システム全75件の個別および全体的な最適化/情報システムの導入・更新時の審査と稼働後の評価体制/情報システムのセキュリティ/外部委託におけるITC活用の適正チェック

三宅まり <http://mmiyake.kanagawanet.jp/>

- 公共施設・公共用地の売却について
- 公共施設の再編について/消えた横断歩道について/大船東口周辺の点字ブロックの不備について

働いていてもいなくても、子育ては社会全体で支えることが必要です。新制度では、個々のライフスタイルに合わせ、子育て支援サービスを選べるしくみに変えていけるかが問われています。ニーズ調査や今後開催される地域での意見交換会等の当

多様なサービスで安心子育て

す。子育て支援センターや子育てひろば等、地域のあらゆる子育て拠点で、短時間の一時保育の実施を引き続き求めていきます。神奈川ネットは、安心

生活保護窓口を封鎖していた鎌倉市の福祉軽視



鎌倉市の生活保護の窓口が封鎖されていることで「水際作戦」とされ、さらに職員への対応のまずさについて、NPO法人POSSEのブログに書き込まれ、問題になりました。神奈川ネットが現場を確認し、指摘した結果、早速キャビネットは撤去され、窓口は復活しました。しかし、問題は生活保護を必要とする市民に対する市の姿勢です。

鎌倉市では、主に新人職員を生活保護担当として配置する人事を行っています。人生経験の浅い若い職員が、一人

《会費・カンパ振込先》
郵便振替口座番号:00200-0-18713
口座名 ネットワーク鎌倉
Tel.0467-42-8636



編集後記 「103万円・130万円の壁」と言われてきた配偶者控除の廃止は、結局見送られることになった。廃止すれば女性のフルタイム希望は倍増するとみられていたが、増税にもなるため慎重論が勝ったようだ。来年は統一地方選、自民党としては消費税 10%を目前に、これ以上の増税は選挙に響くということか?! (C.M)